

# 平成 30 年度 海の道むなかた館 特別展 開催要項

宗像市 郷土文化課 文化財係

## 1 名称

平成 30 年度 海の道むなかた館 特別展 漫画×考古学 『宗像教授帰省録』

## 2 概要

今回の特別展では、漫画という一般的に親しみやすい媒体と考古遺物を併用した展示を行う。展示では、宗像海人族の血を引く民俗学者・宗像<sup>ただくす</sup>伝奇教授が活躍する伝奇ミステリー漫画「宗像教授シリーズ」の原画 20 点及び、掲載紙面を拡大した大型パネル(約 40 枚)などと連動した展示を行い、郷土の歴史を身近にかつ新鮮に感じてもらえる展示を行う。具体的には、物語内で登場する武器形青銅器など、展示総数 90 点に及ぶ実際の考古遺物と大型イラストパネルを併用する形で展示する。

その他、市内近隣市町村に点在する遺跡と連動し、点から線、面をつなぎ、遺跡公園や他館へも足を運んでもらえる契機となる展示としたい。

## 3 展示コンセプト

歴史を知る・学ぶおもしろさや作品内でみられる人の持つ普遍的な感情である『愛情』や、『強欲さ』などについて考えてもらえる展示を通して、古代の人々をより身近に感じてもらい、**人と歴史、人と遺物、遺物と歴史の繋がりを紐解いていく**展示を行う。

## 4 会期

平成 31 年 1 月 1 日（火）～平成 31 年 2 月 17 日（日）(延べ日数 48 日間)

## 5 場所

〒811-3504 福岡県宗像市深田 588 番地

海の道むなかた館(宗像市郷土文化学習交流館) ※入館無料

## 6 作品解説

今回展示で使用する漫画「宗像教授」シリーズは、『宗像教授<sup>むなかたきょうじゆでんきこう</sup>伝奇考』(第 1 シリーズ)、『宗像教授<sup>むなかたきょうじゆいこうろく</sup>異考録』(第 2 シリーズ)と続く、<sup>ほしのゆきのぶ</sup>星野之宣氏が描く伝奇ミステリー漫画です。作品は、古代宗像海人族の末裔で、大学で民俗学を専攻する宗像<sup>むなかたただくす</sup>伝奇教授が、大胆な仮説を基に、民俗学や考古学の知識を駆使しながら、各地に残る伝説や歴史を新たな視点で紐解いていく物語です。

※『宗像教授<sup>むなかたきょうじゆでんきこう</sup>伝奇考』、1994 年～1999 年にかけて、潮出版社「コミックトム」「コミックトムプラス」にて連載。

『宗像教授<sup>むなかたきょうじゆいこうろく</sup>異考録』は、2004 年～2010 年にかけて、小学館「ビッグコミック」にて連載。

## 7 展示内容・箇所（下記平面図参照）

### ①常設展示室入口周辺

宗像教授シリーズを描くための史実をまとめた資料やキャラクターのラフデザイン画などが描かれている「宗像教授創作ノート」などを展示。

### ②大型プロジェクター

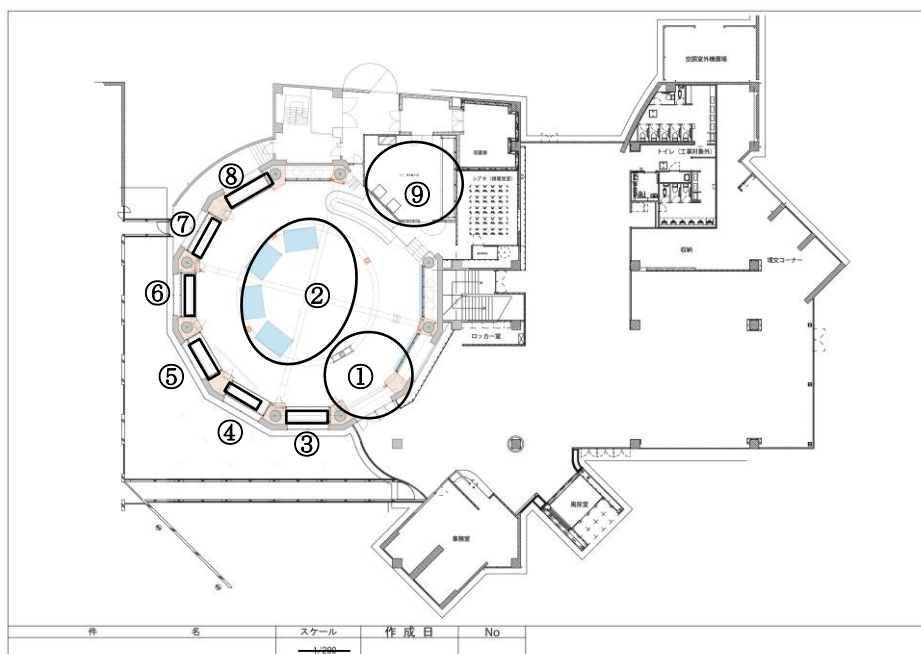
宗像教授が市内に残る遺跡や名所を巡る映像を7m×18mの大型プロジェクターで投影。

### ③～⑧常設展示室

市内遺跡から出土した遺物を、時代に沿って6ブースに分け、連動する漫画イラストパネルを展示。

### ⑨特別展示室

「宗像教授シリーズ」の手描き原画20点とともに、作品に関わる考古資料として国指定重要文化財「広形銅矛」（北九州市<sup>しげどめ</sup>重留遺跡出土・全長83.5cm）や人物埴輪「鞍に乗った貴人」（八女市立山<sup>たちやま</sup>山13号墳出土・高さ70cm、幅30cm）を展示します。日本神話に登場する銅矛や宗像海人族のシンボル「三角文（ウロコ文）」を衣服に描いた人物埴輪を展示することで、宗像教授シリーズの世界をより深く、リアルに感じることができます。



○海の道むなかた館 平面図

## 8 主催及び共催・協賛・協力企業

主催：宗像市教育委員会 共催：宗像市

協賛：日本航空、道の駅むなかた

協力：小学館、北九州市教育委員会、八女市教育委員会、

後援：RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、九州朝日放送、TVQ九州放送、テレビ西日本、西日本新聞社